

# 水稻品種「ふくみらい」の刈り取り適期幅の確定

福島県農業試験場 種芸部  
平成15年度福島県農業試験場試験成績概要  
分類コード 01-01-24270000

部門名 水稻－水稻－収穫・乾燥・調製、品質・食味

担当者 荒井義光・斎藤 隆・伊藤博樹・新田靖晃

## I 新技術の解説

### 1 要旨

本県オリジナル水稻品種「ふくみらい」の高品質・安定生産を図るため、「ふくみらい」の刈り取り時期が玄米品質等に及ぼす影響を調査し、刈り取り適期幅を確定した。

- (1) 「ふくみらい」は、出穂後の積算気温が $1,100^{\circ}\text{C}$ を超えると乳白粒の発生が多くなり、玄米光沢も低下する(図3)。
- (2) 「ふくみらい」の刈り取り適期は、出穂後の積算気温で中通りが $900\sim 1,100^{\circ}\text{C}$ 、会津では $950\sim 1,100^{\circ}\text{C}$ であり、「ひとめぼれ」や「コシヒカリ」より短い(図1、3、表1)。
- (3) 刈り取り開始期の穂の外観は、一穂全体の籾の70～85%程度が黄化し、穂首が黄化始めとなった時期である(表1)。
- (4) ふくみらいの玄米品質低下要因である乳白粒の発生は、粒厚の薄い玄米で多いことから、選別精度を高めることも重要である(図4)。

### 2 期待される効果

「ふくみらい」の適期刈り取りや適正な調製作業が行われ、玄米品質が向上する。

### 3 適用範囲

県内平坦部および山沿い地帯で「ふくみらい」が栽培されている地域

### 4 普及上の留意点

「ふくみらい」の刈り取り開始期は、 $\text{m}^2$ 当たり籾数の多少でやや変動するため、積算気温の推移と同時に穂の外観をよく観察してから決定する。

## II 具体的データ等

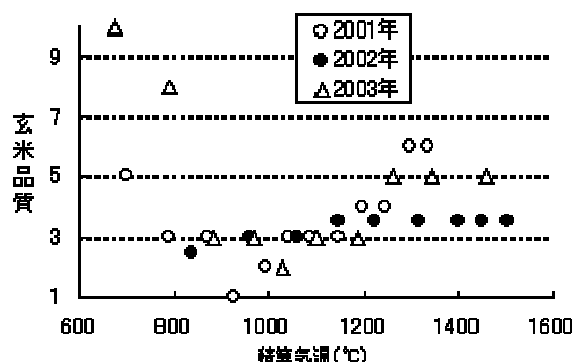


図1 出穂後の積算気温と玄米品質の年次間差（農業試験場）

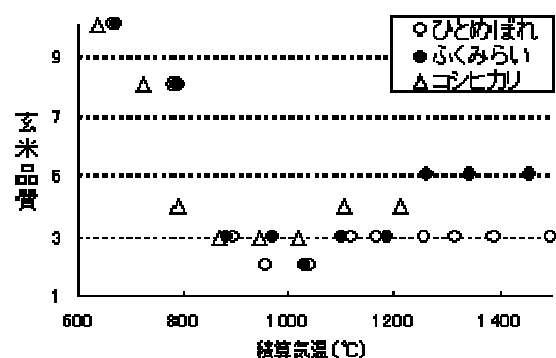


図2 出穂後の積算気温と品種別の玄米品質（2003年、農業試験場、5月15日移植）

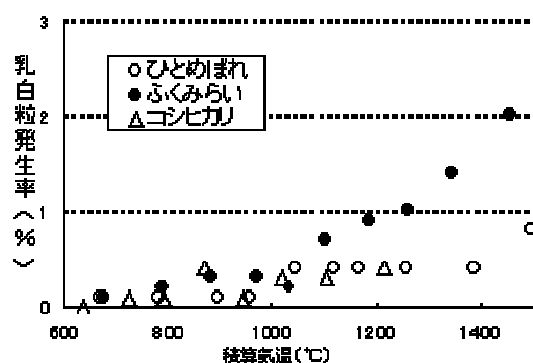


図3 出穂後の積算気温と品種別の乳白粒発生率（2003年、農業試験場、5月15日移植）

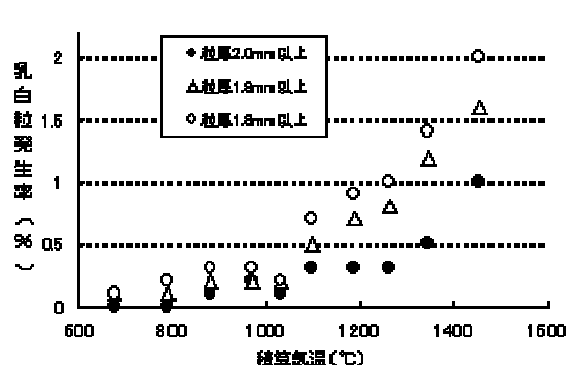


図4 出穂後の積算気温と粒厚別の乳白粒発生率（2003年、農業試験場）

表1 ふくみらいの刈取時期別の玄米品質と穂の外観の推移（2003年、会津地域研究支場）

| 出穂後の<br>日数 | 積算<br>気温<br>(°C) | 玄米<br>品質<br>(1~9) | 格付け<br>理由 | 一穂全体の<br>籾の黄化率<br>(%) | 穂首の黄化        |
|------------|------------------|-------------------|-----------|-----------------------|--------------|
| +38日       | 833              | 5                 | 青未熟       | 40~80                 | 緑色           |
| +39日       | 902              | 4                 | 青未熟       | 60~80                 | 緑色           |
| +42日       | 948              | 4                 | 青未熟       | 70~90                 | 緑色           |
| +45日       | 997              | 3                 |           | 75~95                 | 黄化始め         |
| +51日       | 1100             | 3                 |           | —                     | —            |
| +54日       | 1143             | 4                 | 光沢不足      | 85~95                 | 黄化(80%個体で黄化) |
| +57日       | 1183             | 4                 | 光沢不足      | 95~                   | 黄化(80%個体で黄化) |

\*玄米品質：9段階評価（1上～3下）

### Ⅲ その他

#### 1 執筆者

荒井義光、佐藤 誠

#### 2 主な参考文献・資料

なし